

2003年度社会学コース学事報告

2003年

4. 1

[学部・大学院担当教員]

2003年度は米地實・柴田弘捷・宇都榮子・広田康生・川上周三・嶋根克己の6教授、大矢根淳・樋口博美の2助教授で専任教員は8名。広田康生教授のボストンへの在外研究機関(2003.4~2004.3.31)、「地域社会論Ⅱ(都市の社会学)」、ゼミナールⅢ〔3年〕、「ゼミナールⅢ〔4年〕」は藤原法子兼任講師に担当していただいた。

このほかに、本年度外部よりおいでいただいた兼任講師の先生方は、林在圭(社会学A2コマ、社会学・神田Ⅱ部)、藤原法子(社会学B、社会学・神田Ⅱ部)、橋本健二(社会学B、社会統計法・実習)、島一則(社会統計法・実習)、今防人(社会史)、周藤信也(社会意識論)、山田信行(現代社会論)、福寛美(民俗学)、大出春江(家族論)、秋吉美都(コミュニケーション論、ゼミナールⅠ)、小泉昇(社会福祉論)、ゼミナールⅢ〔3年〕、ゼミナールⅢ〔4年〕、社会調査論・実習Ⅰ、Ⅱ)、川端美樹(ゼミナールⅢ〔4年〕)、徐向東(社会学B、社会学特殊講義Ⅱ〔中国社会論〕)、フット、デビット(社会学特殊講義Ⅰ〔20世紀の世界経済論〕)、リム、スティーブソン(社会学特殊講義Ⅲ〔途上国の経済・社会変動論〕)、西山志保(社会学特殊講義Ⅳ〔NPO論〕)の諸先生。

大学院では、田島淳子(都市社会学：社会学特講Ⅳ)、濱日出夫(社会学思想史：社会学特講Ⅳ)、樽川典子(現代家族論：社会学特講Ⅶ)の諸先生。

学内の先生では、鐘ヶ江晴彦(教育社会学・社会学特講Ⅶ(院))先生にもご担当いただいた。

[専攻学生・院生(2003.4.1現在)]

学部社会学専攻(1・2・3年生)／コース(4年次生以上)所属の学生は、1年生90名、2年生64名、3年生69名、4年生以上95名の計318名。

大学院社会学専攻所属の院生は、修士課程1年生3名、2年生4名、3年次以上生1名、博士後期課程1年生1名、2年生2名、3年生1名、4年次以上生3名。

KSパートナーシップにおいて川崎市役所より修士課程に2名を受け入れた。

4. 5 学部・大学院入学式

4. 11-7. 21 前期授業期間

4. 30-5. 1 社会学専攻1年生フレッシュマン・セミナー(合宿)
於 川崎市青少年の家

7. 5 2003年度第1回大学院修士課程学位請求論文中間報告会
2003年度大学院博士課程学位請求論文中間報告会

7. 9 専修大学社会学会2003年度第1回研究会
報告者：樋口博美助教授

テーマ：「一品生産型労働におけるモノづくりと技能形成－K 職場の事例から－」

7. 16 専修社会学会運営委員会開催
7. 29－7. 31 米地實教授担当社会調査実習実施 東京都三鷹市
7. 31－8. 8 小泉昇兼任講師担当社会調査実習実施 神奈川県大和市
9. 3－9. 5 樋口博美助教授担当社会調査実習実施 神奈川県川崎市・同藤沢市
9. 8－9. 11 嶋根克己教授担当社会調査実習実施 沖縄県糸満市
9. 10－9. 12 宇都榮子教授担当社会調査実習実施 千葉県館山市
9. 11－9. 13 川上周三教授担当社会調査実習実施 東京都府中市
9. 13－9. 14 大矢根淳助教授担当社会調査実習実施 千葉県流山市
10. 29－10. 31 柴田弘捷教授担当社会調査実習実施 神奈川県川崎市
9. 15－1. 13 後期授業期間
10. 15 2003年度第2回大学院修士課程学位請求論文中間報告会(1)
10. 18 大学院修士課程第1期(一般・社会人・留学生)入学試験
10. 22 2003年度第2回大学院修士課程学位請求論文中間報告会(2)
10. 29 社会学専攻2年次生に対するゼミナールガイダンス
11. 5 専修大学社会学会2003年度第2回研究会(川崎研究会と共催)
報告者：米地實教授
テーマ：「有賀喜佐衛門とモノグラファー長野県諏訪市南真志野の調査に参加して－」
10. 18 ゼミナール希望締切日
12. 15 卒業論文提出最終日
- 2004年
1. 7 2003年度専修大学社会学会総会および大会開催
総会
開会の辞：宇都榮子(研究会・大会担当)
会長挨拶：米地實(会長)
事業報告：宇都榮子
会計報告：川上周三(会計)
会計監査報告：柴田弘捷
次期会長推薦：柴田弘捷 次期会長として宇都榮子教授が選出されました
大会(優秀卒業論文報告)：司会 織田和家(大学院博士課程)
第I部
報告I 岡野麻央 コメンテーター：片岡大悟(大学院修士課程)
「女性のエンパワーメント－性別役割を超えて－」

報告Ⅱ 岩永信二 コメンテーター:織田和家(大学院博士課程)
「『学歴主義』と大企業エリート－電機産業における
役員の実情を例に－」

第Ⅱ部

報告Ⅲ 川崎哲也 コメンテーター:玉川貴子(大学院博士課程)
「福祉サービス第三者評価事業の現状と課題－神奈川
県の実情を例に－」

報告Ⅳ 高橋純子 コメンテーター:平賀勝彦(大学院修士課程)
「報道にみる性同一性障害」

報告Ⅴ 鈴木絵美 コメンテーター:渡黒亮(大学院修士課程)
「リストカットシンドロームにみる現代の若者たちの
病理－ホームページ考察を手がかりに－」

報告Ⅵ 近藤孝憲 コメンテーター:織田和家(大学院博士課程)
「地域の住民運動から『反対運動』の本質を明らかにす
る－『駒木地区』におけるフィールドワークより－」

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| 1. 10 | 修士論文提出日 |
| 1. 15－1. 22 | 卒業論文口述試験 |
| 1. 28 | 修士論文口述試験 |
| 2. 13 | 文学部人文学科社会学専攻入学試験 |
| 2. 21 | 大学院修士課程第2期(一般・社会人・留学生)・博士後期課程
入学試験 |
| 2. 21－22 | 『専修社会学』第16号原稿締切、編集作業 |
| 2. 29 | 社会学コース専任教員、兼任教員懇談会開催 於:新宿中村屋レ
ザミ |
| 3. 22 | 学部卒業式
『専修社会学』第16号発刊 |
| 3. 25 | 大学院学位記授与式 |